

星ノ宮遺跡現地説明会を開催しました。

財団法人とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センターでは、栃木県教育委員会の委託を受け、市貝町の星ノ宮遺跡の発掘調査を行いました。平成23年10月29日に行われた現地説明会では83名の参加がありました。



中世～近世を主とする集落跡の調査成果が説明されました。



遺跡で見つかった土器を解説しているところです。みなさん真剣です！

ほし の みや い せき 星ノ宮遺跡

－ 経営体育成基盤整備事業小貝川沿岸2期地区における
埋蔵文化財記録保存調査－

芳賀郡市貝町文谷地内

現地説明会資料 平成 23 年 10 月 29 日

栃木県教育委員会

栃木県宇都宮市埴田 1-1-20 TEL028-623-3425

財団法人とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター

栃木県下野市紫 474 TEL0285-44-8441

はじめに

星ノ宮遺跡のある文谷地区は、小貝川に沿って南北に延びる丘陵の西緩斜面に営まれた縄文時代、古墳時代、中・近世の遺跡です。

栃木県教育委員会では、経営体育成基盤整備事業小貝川沿岸2期地区予定地の確認調査を行い、星宮神社東側に遺跡があると判断し、記録保存調査を実施することになりました。発掘調査は、財団法人とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センターに委託し、平成 22・23 年度に実施、調査対象面積は 11,100 m²です。

歴史資料（参考『市貝町史』第一巻 自然・原始古代・中世資料編）

- 「文谷・星宮大明神縁起（直井家文書）」 星宮神社社家の直井家に伝わる元禄 11 年の文書。宇都宮朝綱の家臣関沢弥八郎次男弥次郎が当地の代官となったこと、天文 20 年（1551）、5 月 22 日、千本常陸守資俊が主家の那須高資を千本館で殺害し、その恩賞に「文屋・市花輪」が与えられたこと、その後烏山領となり成田尾張守氏長が領したこと、また、板倉石見守重矩領地にもなったことが記されています。
- 「宇都宮氏・旧臣姓名書（宇都宮孝則家文書）」 慶長 2 年、宇都宮国綱の時期の家臣帳。「文谷 村 関沢久太夫 松(杉)山村 関沢靄之丞」とあり、関沢家が代官であったことが分かります。
- 「那須戦随筆」 千本資俊・資政親子が那須高資を饗応し、高樓から降りたところを兵士二人に襲わせ、最後は落とし穴に落とし殺害し、「文谷・市花輪」を手に入れたことが記されています。
- 北調査区の土地は「荒屋敷」、星宮神社の西の土地は「古屋敷」と呼ばれています。
- 小貝川を挟んで西約 300m の丘陵上に文谷城跡があります。

発掘調査の概要

- 1 発掘調査は、圃場整備事業で削られる部分を対象に 11,100 m²を実施しました。地形の都合上、南調査区・北調査区に分けて調査しました。
- 2 南調査区では、古墳時代後期の竪穴建物跡 2 軒、中世～近世の掘立柱建物跡 8 棟・井戸 8 口・溝 1 条・土坑 33 口などを確認しました。古墳時代の竪穴建物跡は火災に遭っており、不慮の火事もしくは、廃屋となる段階で焼却処分した可能性があります。特に、柱近くにあった吊り棚が食器ごと落ちたような状態で土器が出土していることから、前者の可能性が高いとみられます。中世の井戸や溝からは、内耳土器（ほうろくナベ）やカワラケが出土しました。
- 3 北調査区では、縄文時代の住居跡 2 軒、古墳時代後期の竪穴建物跡 1 軒、中世～近世の掘立柱建物跡 33 棟・掘立柱塀跡 6 条・井戸 15 口・溝 3 条・土坑多数などを確認しました。掘立柱建物跡は大きく 3 群に分かれることから、3 軒の屋敷地であった可能性があります。また、それぞれの屋敷地には井戸がありますが、二つならぶ例がみられます。この地域は地下水位が高く、井戸は深さ 2 m 前後です。地表面から約 1 m で白色の粘土層となり、この粘土は薄くはがれる特徴があるため、素掘りの井戸は抉り込まれ、やがて使えなくなります。そうになると、井戸を廃棄し、近くにもう一つ井戸を掘り、その土で古い井戸を埋め戻していたようです。遺物は、志野・黄瀬戸・肥前などの陶磁器片や小柄の一部、キセルなどが出土しました。

Y=24,020

Y=24,030

Y=24,040

Y=24,050

Y=24,060

Y=24,070

Y=24,080

Y=24,090

Y=24,100

Y=24,110

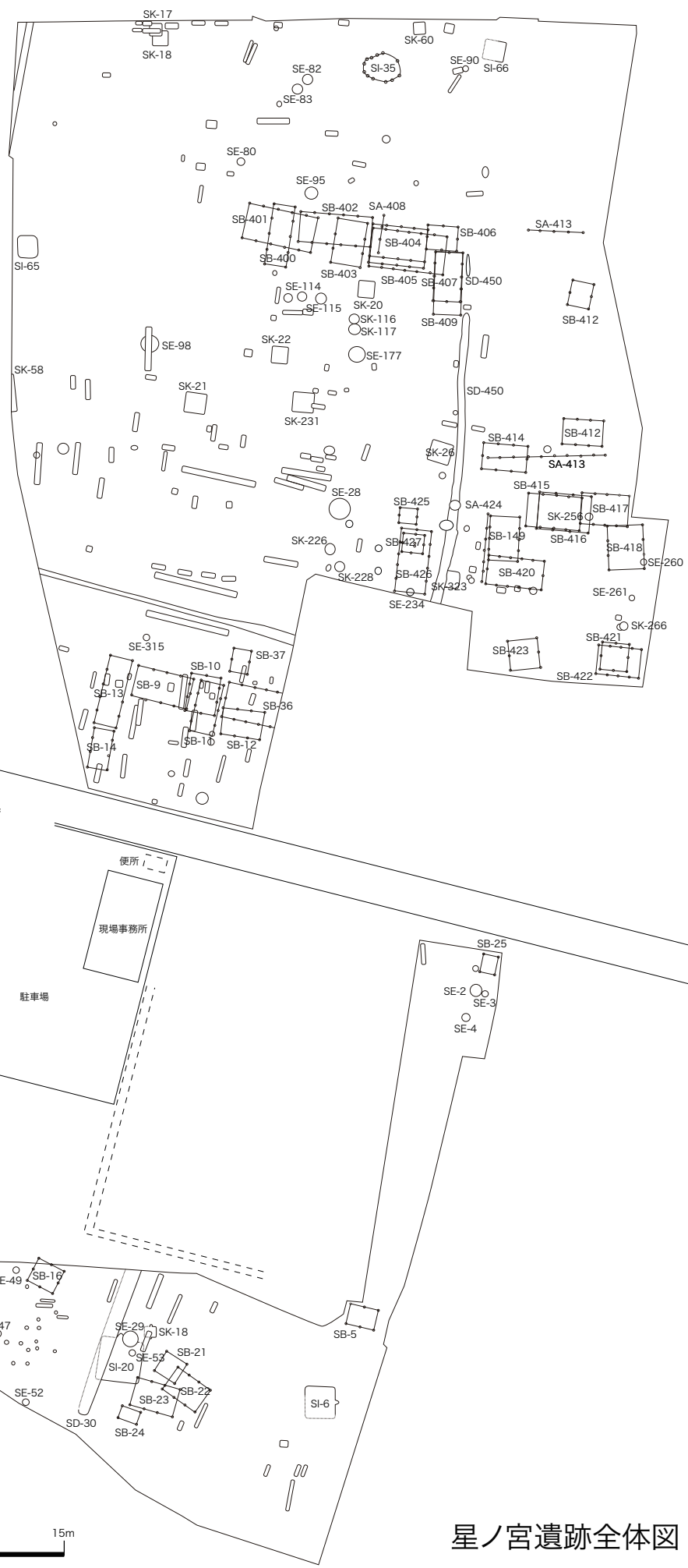
Y=24,120

Y=24,130

Y=24,140

Y=24,130

X=62,910



X=62,900

X=62,890

X=62,880

X=62,870

X=62,860

X=62,850

X=62,840

X=62,830

X=62,820

X=62,810

X=62,800

X=62,790

X=62,780

X=62,770

X=62,760

X=62,750

X=62,740

X=62,730

X=62,720

X=62,710

X=62,700

X=62,690



星ノ宮遺跡全体図

X=62,680